

< 都市住民等の交流を実施している事例 >

グリーン・ツーリズム受け入れて集落の活性化

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	岩手県釜石市 <small>かまいしし</small> 平 向 <small>たいらむかい</small>			
協定面積 3ha	田(100%) 水稲、野菜等	畑	草地	採草放牧地
交付金額 22万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50.0%)	担当者活動経費		14%
		体制整備に関する活動経費		9%
		鳥獣害防止対策及び水路・農道等の維持管理等経費		27%
協定参加者	農業者 11人、非農業者 3人			

2. 取組に至る経緯

当集落の農地は、鵜住居川とその支流の両岸にあり急勾配で小区画の農地が多い地域であり、農業後継者がなく高齢化により個別営農の継続が困難になると予想されていた。

そこで、集落全体で協力しながら農業生産活動等を行うため、農機具共同利用と新規就農者の確保及び集落以外の住民と連携した環境美化に取り組み、集落の活性化を図ることとした。

3. 取組の内容

平成19年度に水稲作業受託組織を設立し、集落協定参加者のうち5名がオペレータとして参加しており、水稲受託作業面積の拡大に向けた取組と農機具共同利用により農機具費の減少を目指している。

その他、地域活性化の取組として横浜市のNPO法人「浜辺づくり研究会」との交流や県の委託事業「中山間地域交流モニターツアー」の受け入れを実施している。

同法人との交流は3年目となり、参加した40名とそば打ちや農家民宿の体験活動などによる都市住民等との交流を図っている。

また、産直施設「橋野どんぐり広場」で野菜の販売を行っており、生産意欲が向上してきている。



水稲共同防除



花壇の整備

【集落の将来像】

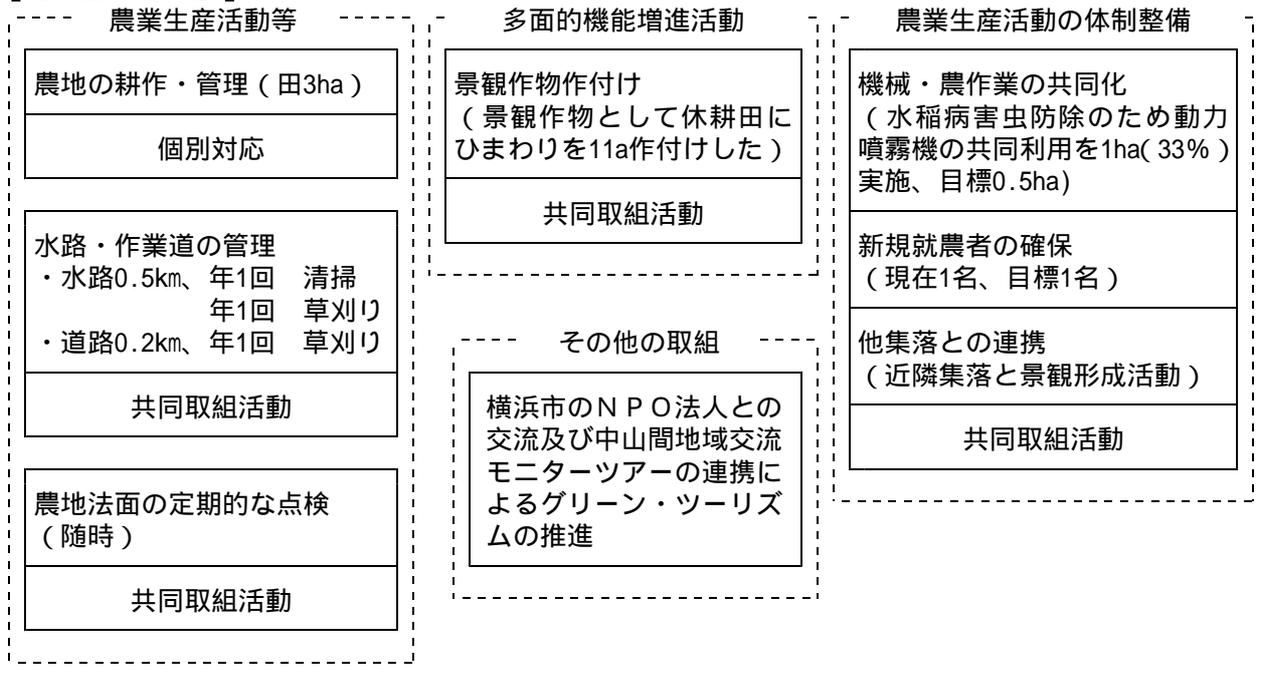
個別型農業から脱却し、集落全体で農業生産活動等を推進していける体制整備づくりを行う。



【活動内容】

農業機械の共同利用の推進
他集落住民と連携した景観作物の作付けや農地等の管理の取組

【活動内容】



集落外との連携

橋野地区直売施設と連携して農産物の産地直売を行っている。橋野地域機械等共同利用組合を設立し、水稲受託作業にオペレータとして5名が参加している。グリーン・ツーリズムの受け入れについて協定参加者で話し合い、そば打ち体験、収穫体験等を行い、都市住民との交流を図る。

4. 取組による変化と今後の課題等

国や県の交流事業活用により、農家民泊、収穫体験等の都市住民との交流によって、生産意欲の向上や集落のコミュニケーションが活性化した。今後は、高齢化により個別営農の継続が困難となるため、新たな担い手の確保と農作業受委託体制の拡大に取り組んでいくこととしている。

【平成20年度までの主な成果】

- 共同防除による作業の効率化 (当初0ha、H20実績1.3ha、目標0.5ha)
- 新規就農者の確保 (目標1名、H20実績1名)
- 都市住民との交流による地域の活性化
 - 釜石まるごと地域資源活用体験活動、中山間地域交流ツアー (67名(H19実績))
- 協定参加者以外の非農家との多面的機能増進活動 (目標2名、H20実績3名)